

越谷都市計画道路 3・3・3 浦和野田線（元荒川工区）
第 2 回オープンハウス型説明会開催結果について

1 開催日時、場所、参加者

日にち	時間帯	対象地域	会場	参加者
令和 6 年 11 月 29 日(金)	18:30~20:30	北越谷地区	北越谷地区 センター	36 名
令和 6 年 11 月 30 日(土)	9:00~11:30			35 名
令和 6 年 12 月 1 日(日)	10:00~12:00	荻島地区、 神明町 2 丁目	荻島地区 センター	30 名
	13:30~16:30			35 名

合計 136 名

（参考：第 1 回説明会）合計 169 名

2 意見交換、意見書の受付等

第 1 回では、「自然環境・景観対策」「出津橋周辺の横断方法」「生活道路の安全対策」「生活環境（騒音等）対策」について御意見をいただきました。

第 2 回では、再検討した「出津橋周辺の横断方法」「生活環境（騒音等）対策のうち騒音対策」について説明し、以下のとおり御意見をいただきました。

○ 意見書受付数（説明会当日） 58 通

○ 郵送・メール受付数（後日） 6 件

* このほか会場において多数の御意見・御質問をいただきました。

3 御意見の概要（抜粋）

いただいた全ての御意見は、別紙「御意見・御質問一覧」を御確認下さい。

< 1 出津橋周辺の横断方法 >

● 案 1（横断歩道橋案）

- ・ 横断距離が長くなっても子どもが安全に渡れることが良い。
- ・ 横断距離が長く利便性に欠けるため、住民等は横断歩道橋を使用せず、駅に近い大間野南荻島線との交差点に利用者が集中するのではないかと。

● 案 2（半地下案）

- ・ 直線的に道路を横断できることが良い。
- ・ 道路冠水の可能性を考えると現実的ではない。

● 案 3（横断歩道追加案）

- ・ 出津橋から歩道へ下る階段が急で車いす利用者等が利用できない。
- ・ 隣接する信号灯器との距離が近いすぎるので、現実的ではない。

- 案4（元荒川新設架橋案）
 - ・ 少ない上り下りで道路を横断できる。同時に出津橋の混雑状況を緩和する方法として妥当と思われる。
 - ・ 人流は分散され、事故も減る。一方で、関係者への協議の課題の為、困難という記載が残念。
- 案5（出津橋の架換え位置変更案）
 - ・ 案4の問題に対応した案5は良い。
 - ・ 大学生や住民の憩いの場として、新しい橋の整備に合わせて親水護岸（カヌー乗り場）を設置して欲しい。
 - ・ 橋の幅員を拡幅すれば混雑は緩和されるが、一箇所に人流が集中することは往来する人のトラブルにつながる危険がある。
- その他
 - ・ 出津橋は人で混雑しているので、通行者が安全に往来できるようもっと広げる等考えて欲しい。

< 2 生活環境対策（騒音） >

- ・ 騒音が環境基準値未満に収まるとのことで理解納得した。
- ・ 北越谷地区内において用途地域の違いで対策が異なるのはおかしい。環境基準値を超えた住居専用地域に低層遮音壁を設置するのであれば、たとえ近隣商業地域が環境基準値未満であっても、平等に近隣商業地域にも低層遮音壁を設置するべき。
- ・ 環境基準値を下回るだけでは足りない。

< 3 自然環境 >

- ・ 大間野南荻島線との交差点付近で植栽が途切れている区間も植栽することを検討して欲しい。

< 4 交通安全対策 >

- ・ 浦和野田線に接道するすべての道路から車両の出入りが可能になると、北越谷地区内を通過する交通量が増え、地区内の交通環境が悪化しないか心配。
- ・ 神明町2丁目には、荻島小学校に通う子ども達もいるので、浦和野田線を横断するための手段を考えて欲しい。
- ・ 市道から浦和野田線に合流する車が逆走しないように対策をして欲しい。

< 5 事業全般 >

- ・ 取組み内容をよく理解できた。
- ・ 県の都合の良いように（あたかも住民の御意見を取り入れているように見せかけて）押し進められているように思えてならない。説明が欲しいわけではなく、住民の要望も取り入れた事業をして欲しい。

< 6 越谷流山線 >

- ・ 浦和野田線と越谷流山線の交差点北側にある交差点の信号機及び横断歩道の撤去は反対。